

# 稲美町教育委員会議事録

1 開催日時 令和6年8月8日(木) 開会 15時00分  
閉会 17時18分

2 開催場所 稲美町役場303会議室

3 会議に付した事項

日程第1 諸報告

(1) 行事・経過報告について

(2) 8月・9月の行事予定について

日程第2 報告

報告第19号 専決処分したものに承認を求めることについて

専決第19号 専決処分書(稲美町男女共同参画プラン推進懇話会委員の委嘱について)

日程第3 議案

議案第9号 令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について

日程第4 その他

(1) 稲美町スポーツ推進会議の報告について

(2) 第1回図書館協議会の報告について

4 出席委員

教 育 長	北 谷 錦 也
委 員	後 藤 哲 夫
委 員	高 田 道 夫
委 員	松 田 緑

5 出席職員

教育政策部長	沼 田 弘
教育課長	奥 陽 一
学校教育担当課長	稲 葉 寛
管理担当課長	前 田 浩 二

人権教育課長	瀧口泰広
生涯学習課長	赤松嘉彦
スポーツ担当課長	中澤秀俊
文化の森課長	中嶋聖仁

## 6 開 会

### 教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席をたまり、誠にありがとうございます。  
なお、本多委員から、本日は欠席の旨の連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立しておりますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

はじめに、ご提案がございます。議事日程につきまして、通常ですと議事日程のとおりですが、本日は議案第9号「令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」を最初に行いたいと考えております。

委員のみなさまにお諮りのうえ議事日程について、本日、順序を変更したうえで進めることとしてよろしいか。

### 各委員

異議なし。

### 教育長

異議なしのお声をいただきましたので、本日の議事については、議案第9号「令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」を最初に行いますので、よろしく願いいたします。

次に、会議の傍聴を希望する者が8名ありますが、許可することとしてよろしいか。お諮りします。

### 各委員

異議なし。

### 教育長

ありがとうございます。それでは、稲美町教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、許可することといたします。

傍聴人は入室してください。

次は議事録署名委員の指名であります。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、教育長から指名いたします。本日は松田緑委員にお願いします。

次は日程第3 議案第9号「令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

この会に先立ちまして、稲美町教科用図書選定委員会 会長より令和6年6月11日付け稲教委第266号で諮問しました令和7年度使用公立中学校教科書の採択について、答申書の提出を受けました。選定委員会の皆さんには、大変な作業をお引き受けいただいたこと、感謝申し上げます。

なお、本日の教育委員会では、稲美町教科用図書選定委員会規約の第5章 議事録及び資料の公表の第13条に「選定委員会の会議の議事録及び前条第2項の資料（「調査員は、見本の送付があった全ての教科用図書の調査研究を行い、種目ごとに調査研究の結果を取りまとめた資料を作成し、代表者が各市町の選定委員会に報告する。」）については、8月31日以降公表する。」としておりますので、稲美町教科用図書選定委員会の教科用図書調査に関する報告書についての説明や質疑応答等は、事務局が代わって行うこととします。

では、事務局から教科用図書調査に関する報告書作成にあたっての協議概要等を説明してください。

奥課長

最初に、加印地区共同調査委員会の調査研究の観点と今回採択に付した教科書説明をします。教科用図書採択に関する報告書の1ページから7ページをご覧ください。

（調査研究の観点 及び 採択に付す教科書を説明）

続いて、これらの観点に基づいて調査された加印地区共同調査委員会による調査報告書を参考に協議し、採択案として稲美町教科用図書選定委員会による教科用図書調査に関する報告書を作成しました。

協議の概要は、以下のとおりです。

まず、学習指導要領との関連は、いずれの教科書も学習指導要領に示された各教科及び道徳科の目標達成に結びつく内容でした。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫や言語活動の定着を図るための工夫は、それぞれの教科書に特徴が見られました。

内容は、各教科の目標や特性に応じて、「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成のバランスがどうかや生徒が主体的に学習を進めやすいかなどが協議の中心とされています。また、デジタルコンテンツを適切に活用するための配慮が示されているか、SDGs など今日的課題が取り上げられ、発展的な学習も行うことができる工夫がされているかについても話し合われています。

構成・分量については、内容の量と学習時間が適切に配当されているか、生徒の発達段階に即して系統的、発展的に構成されているかどうか等を検討しました。

表記・表現は、適切に文書、写真等が使用されているか、字間や行間、色使いやページ構成等の見やすさについて、ユニバーサルデザインの観点から検討しました。

教育長

協議の概要等について、ご質問はありませんか。

後藤委員

まず、教科用図書の採択にあたり、全体を通した質問として、稲美町の生徒にとって最もふさわしい教科用図書を選定していただくという点とともに、教員が指導しやすく生徒が学習しやすいという点でも考慮いただいているかを確認しておきたいと思います。

奥課長

実際に授業を行う教員の視点、また、教科書を使って学習を行う生徒や保護者の視点から、「生徒自身にとって学びやすく、教員にとっても指導しやすい」教科書はどれがふさわしいかという内容が協議の中心となっています。

教育長

では、稲美町教科用図書選定委員会による教科用図書調査に関する報告書について事務局か

ら説明してください。

今回、採択に付す教科書は中学校全種目ですので、協議の中心となった教科書に絞って協議の概要を説明してください。

まずは、国語・書写に関する報告をお願いします。

奥課長

国語・書写の協議の概要を説明します。

教科用図書採択に関する報告書の8ページから11ページをご覧ください。

国語の4社、書写の4社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

国語は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫や学習への興味・関心を高め、学びを深めるためのデジタルコンテンツを適切な活用に対する配慮などの観点から、東京書籍と光村図書の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、全体的に資料等に関する説明が丁寧で、特に古典においては、作品もなじみやすく、関係資料の掲載も多くなっています。また、デジタルコンテンツも豊富に用意されており、学びを広げる資料が用意されているところが特徴です。光村図書は、学習する單元における流れや学習のポイントが單元ごとに用意されており、教師も生徒も学習の見通しを持つことができるよう工夫されています。また、学習指導要領において求められている資質・能力の育成に向け、学習の手立て等がバランスよく明記されているのが特徴です。

書写は、文字を正しく整えて書くことに向けての目標の示し方や、学習したことを日常生活に生かすことのできる内容が充実しているかどうか、といった観点から、教育出版と光村図書の2社が協議の中心となりました。

教育出版は、看板、書物等の身の回りの多様な表現を通して、文字文化の豊かさに触れことができるよう工夫されています。また、手本が濃淡で表されており、毛筆を行う際に、力を入れる箇所が視覚的にわかるような配慮がなされています。

光村図書は、学習への興味・関心を高めたり、学びを深めたりするためのデジタルコンテンツが必要に応じた形で用意されています。また、教育出版と同様、朱書きの濃淡により、筆の運び方、力を入れる箇所が一目でわかるよう工夫されており、生徒が学びやすいような配慮がなされています。

以上が、国語・書写に関する協議概要の説明となります。

教育長

では、国語から協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

後藤委員

先ほどの事務局の説明にもあった件について、光村図書は、教科書の巻頭に、「この教科書のどの単元で、どんな力を身につけていくのか」といった一覧表があります。とてもよく分かります。この単元で育成する能力を分かった上で、学習に臨むわけですから、生徒も主体的に学習に取り組めそうです。

松田委員

東京書籍にも、似たようなページが用意されています。具体的にどんな活動をするのかがわかるようにはなっています。しかし、どんな能力を身につける学習なのかについては、ちょっと分かりにくいです。

高田委員

たしかに、このようなページは大切だと思います。学習におけるゴールのようなものが示されているわけですから、教師側からすると評価をするうえで、とても有効なページかも知れません。

さらに、光村図書は、他教科との関連やSDGsとの関連も示してあるので、生徒は自分達の学習がいろいろな物とつながっているということが意識できますね。

後藤委員

東京書籍の「私たちの未来」、光村図書の「はじまりの風」、どちらも1年生の4月当初に学習するととても良い読み物教材です。中学生になって、感じるさまざまな心情の変化を読み解いていく教材で、自分事として話にのめり込んでいってしまうかもしれません。

心情の変化を読み解いていくときに、光村図書では「図を使う」といった例示がされています。まずは視覚的に変化を感じ、自分の言葉で表現させていくという、生徒も学習しやすい工夫がされているように感じます。

高田委員

指導の仕方は、教師裁量ですが、読み取りが苦手な生徒にとっては、「こんな方法もあるんだ」といった手掛かりになるかもしれません。

教育長

この度の学習指導要領のポイントの一つに上がっている、わが国の言語文化にふれる際に大切な「古典」については、どうでしょうか。

松田委員

東京書籍は、古典において多くの資料が掲載されています。本文に関連する補足情報がぎっしり詰まっています。

光村図書は、本文の字体（フォント）を変えており、わが国の言語文化に触れるような工夫がされていますし、現代語訳が本文の横に書いてあるので、照合しやすい気がします。

教育長

さまざまな意見が出ましたが、どちらの教科書がよいでしょうか。

高田委員

これまでのみなさんの意見をお聞きして、稲美町の中学生には、しっかりと見通しをもって、学習に取り組んでほしいし、先生方にも授業しやすいページ構成となっている光村図書でよいのではないのでしょうか。

教育長

他のみなさんいかがでしょう。

後藤委員

私も同感です。

教育長

それでは、国語は光村図書にしたいと思います。

各委員

異議なし。

教育長

それでは、書写はいかがでしょう。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

松田委員

教育出版は、左で文字を書く人のための「用具の置き方」が写真で掲載されています。多様に配慮されていて、良いと思いました。

高田委員

光村図書も、左で文字を書く人に対して、写真や動画で解説する二次元コードが用意されていました。動画を見て、自分の筆の持ち方などを確認できます。よく考えられていると感心しました。

後藤委員

どちらの教科書もただ文字を書き写すだけでなく、「字」について、多面的に考えることができるようたくさんの方が盛り込まれています。教育出版は、「文字の変遷」ということで、過去や現在において使用されていた文字について詳しく説明があり興味深く感じました。

松田委員

光村図書は、書写の学習を防災教育と関連させるようなページがありました。総合的な学習の時間などの他教科との関連も意識されていて良いと思います。

後藤委員

先ほどの事務局の説明にあった、朱書きの濃淡によって、生徒が筆圧を意識して書くことができる工夫のことですが、光村図書は、1、2年の見開きのお手本のページには、お手本の字の横に並べて朱書き箇所があります。これは、実際に書写の活動では、お手本を見ると同時に筆圧にも気を付けて、字を書くことができ、よく考えられています。

高田委員

教育出版の教科書は、他社の教科書と比べて一回りサイズが大きいですね。稲美町の生徒の机のスペースを考えると、コンパクトなサイズの方が良いかもしれません。

ですので、光村図書の方が良いのではないのでしょうか。

教育長

高田委員から、書写は光村図書とのご意見がありましたが、いかがですか。

各委員

異議なし。

教育長

皆さまから「異議なし」の声をいただきましたので、書写は、光村図書とします。

続いて、社会の地理・歴史・公民・地図の報告をお願いします。

#### 奥課長

教科用図書採択に関する報告書の12ページから21ページをご覧ください。

地理の4社、地図の2社、歴史の8社、公民の6社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

地理は、生徒が日本や世界のさまざまな地理的な事象に興味・関心を持ち、主体的に学ぶための工夫があるか。生徒が学びを深めるためのデジタルコンテンツの充実といった観点から、帝国書院と日本文教の2社が協議の中心となりました。

帝国書院は、見開きの2ページの右下に掲載している「確認しよう」「説明しよう」を使って、毎時間個別の学びの場や、協働的な学びの場を提供できるといった工夫があります。また、資料や写真も新しく豊富です。

日本文教は、見開き2ページの学習課題とともに、社会科における「見方・考え方」が示されており、生徒はこの時間に着目するポイントを意識することができます。帝国書院と同様、右下に表記してある、「確認」「表現」というコーナーにより、個別の学び、協働的な学習を展開することができます。

地図は、東京書籍と帝国書院の2社で、学習資料としての使いやすさ、見やすさを中心に協議しています。

東京書籍は、生徒の学習意欲を高めるため、キャラクターを使って、課題設定を提示しています。また、二次元コードの活用により、地図における各地域の写真を確認できるよう工夫されています。

帝国書院は、資料が豊富で、その多くが最新の情報となっています。また、「地図で発見」といったコーナーを設けており、生徒の主体的な学びが期待できる構成となっています。

歴史は、歴史を学ぶ中で、出来事が起こった原因、結果、さまざまな因果関係を考えていくことが大切ですので、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫、及び「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫があるか、といった観点から、帝国書院と日本文教の2社が協議の中心となりました。

帝国書院は、対話的な学習を促す課題設定が多くあり、歴史的な見方・考え方を働かせるための課題等も用意されています。また、小学校の学習内容、地理・公民との関連についても意識したページ構成が行われているのが特徴です。

日本文教は、生徒の学習への興味・関心を高め、学びを深めるためのデジタルコンテンツが充実しておりました。また、「先人に学ぶ」といったコーナー等を作ることにより、歴史上の人物について、様々な視点で学ぶことができるよう生徒が歴史の面白さを感じる工夫があります。

公民は、今日的課題が適切に取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、当事者意識をもって、主体的に学習に取り組むことができるか、また、現代の社会生活と関連つけて多面的・多角的に考察することができる内容であるかといった観点から、東京書籍と帝国書院が協議の中心となりました。

東京書籍は、社会の「見方・考え方」を働かせるために、さまざまな視点から考察できる資料が豊富に掲載される、といった工夫が行われています。また、二次元コードの位置も固定されており、まとまったページ構成となっています。

帝国書院は、写真を大きく掲載して、視覚的な情報から学習の導入につなげ、生徒の主体的な学習活動を促そうとする工夫が見られます。地理、歴史同様見開きの2ページの右下に「確認しよう」「説明しよう」が掲載され、個別最適な学び、協働的な学びが期待できます。

以上が、社会の地理、地図、歴史、公民に関する協議概要の説明となります。

教育長

では、地理から協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

高田委員

どちらも、グラフや図、写真がきれいで見やすいです。学習意欲が掻き立てられます。

後藤委員

帝国書院の29ページですが、世界の各地域の雨温図が並列に示してあるのは非常にわかりやすいです。日本文教は、各地域において、東京と比較してある記載してありますが、私は世界の各地域を並べてある方が、わかりやすいです。

松田委員

全体的に感じるのですが、帝国書院の方が、表やグラフ、そして写真において、より新しいデータを掲載してあるように感じます。「世界のさまざまな生活と環境」という単元の同じような地域のページをみても1～2年以上の差があるように思います。情報はできるだけ新しいものがあります。

高田委員

帝国書院は、防災学習についても、充実した内容になっています。やはり、今は異常気象が続いていますし、地震も頻発しています。さまざまな教科でこういった視点は大切にしてほしいです。

後藤委員

日本文教は、各単元の同じような箇所に二次元コードがあります。統一感があります。その点、帝国書院は、巻頭6ページで一括管理されています。どちらも工夫されていて、授業者も使いやすいそうです。

松田委員

どちらもよい教科書だと思いますが、生徒が資料で比較して調べたり、学習した内容をもとに話し合ったり、まとめたりするならば、より新しい情報で当事者意識をもってほしいです。よって、帝国書院の方がそういった学習に向いているのではないかと思います。

教育長

それでは、地理については、帝国書院でよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

では、次に地図について協議します。いかがですか。

高田委員

帝国書院は見やすく、使いやすいように思います。2つの教科書を比べても、色の使い方にもよるとは思うのですが、帝国書院の地図の方が各地域の起伏がわかりやすい、と感じました。

松田委員

どちらの地図も二次元コードが多く掲載されており、使い方の幅が広がりそうです。また、防災に関するページもあり、さまざまな分野で防災意識を高めることができます。

後藤委員

地理でもそうでしたが、地理や他教科等との関連がわかりやすいようなアイコンが用意されている帝国書院は、やはり活用しやすそうに感じます。

教育長

それでは、地理に引き続き地図についても、帝国書院の方が良いということによろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

では、次に、歴史について協議します。委員のみなさまご意見をお願いします。

松田委員

帝国書院は各時代の学習の初めに見開き2ページで「タイムトラベル」のページがあります。その時代の人々の生活の様子が一目でわかりそうです。

高田委員

日本文教も各編の初めに、その時代を学ぶ上でポイントとなりそうな絵が掲載してあり、生徒の興味関心を惹くような工夫がされています。

後藤委員

帝国書院は、「タイムトラベル」のページから、歴史的な見方・考え方を働かせるための発問が右上に記載してあります。そして、「対話」という記載があるし、対話のポイントもヒントとしてでているので、話し合いが盛り上がりそうだし、いろんな意見が出そうです。

高田委員

日本文教も歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫が單元ごとに1問程度配置されています。やはり、こういった活動が言語能力を高めることにもつながります。

松田委員

帝国書院で、5か所ほど配置されている「アクティブ歴史」はとても良いです。答えが一つではない課題が提示されていますので、生徒はいろんな意見が出せると思います。とても大切な活動だと思います。

高田委員

帝国書院は、地図帳も作っている会社ですから、やはり資料につかわれている地図も詳しくて見やすいです。また、資料についても特に現代においては、比較的新しい資料が多いのではないかと感じます。

後藤委員

細かいところかもしれませんが、生徒に示す情報としては、正しく最新の情報の方が良いと思います。

教育長

歴史も、帝国書院を推す意見が多いようですが、それでよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

それでは、公民はいかがでしょうか。

高田委員

帝国書院は、兵庫県を題材した資料が多いと感じます。巻頭1ページ、巻末2、3ページにあります。兵庫県の生徒にとって、大変ありがたいことですし、興味関心がわくことと思います。

松田委員

帝国書院のページ構成は、とても見やすいです。見開き2ページの中に大きな写真や小さな写真があって、大きい写真は、この学習のメインの写真だとわかるし、小さいものは補助的で、とても学習しやすく感じます。

後藤委員

東京書籍は、1ページ中にも資料が少し多いように感じます。情報が多く、詳しくて良いと思います。ただ、授業の中ですべての資料を活用するのは難しいかもしれません。生徒の発展的な学習に活用できるかもしれません。

高田委員

東京書籍は、配色はすっきりしています。情報量は多いですが、落ち着いた印象を受けます。

後藤委員

社会科のこれまでの意見の中にもありましたが、帝国書院は、ページの随所に小学校との関連、地理や、歴史との関連といったマークがあり、さまざまな学習のつながりを感じることができます。生徒側もいろいろな情報をつなげて学ぶことができ、理解が深まりそうです。ですので、公民も帝国書院の方が、学習しやすいのではないのでしょうか。

教育長

後藤委員から、このような意見がありますが、ほかの皆様いかがですか。

松田委員

そうですね、帝国書院は、公民の教科書でも、内容のバランスが良く、生徒の主体的で対話的で深い学びの実現に向けた工夫が多くありました。それに加え、他の分野との関連性も意識できれば、本当に深い学びにつながりそうです。

教育長

それでは、公民分野も帝国書院でよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

それでは、社会科は、地理、歴史、公民、地図、すべて帝国書院といたします。  
続いて、数学と理科の報告をお願いします。

奥課長

数学と理科について、協議の概要を説明します。

教科用図書採択に関する報告書の22ページから28ページをご覧ください。

数学の7社、理科の5社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

数学は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫や学びを深めるためのデジタルコンテンツの適切な活用などの観点から、東京書籍と啓林館の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、各単元の初めに生徒同士は説明し合うための問いが多く設定され、対話を通じて、主体的に学んでいくよう構成されています。また、デジタルコンテンツでは、解説動画やワークシート、フラッシュカードなど学習を広げるためのコンテンツが多く用意されており、生徒が自分の能力に応じて、個別に学んでいくために効果的な構成となっています。啓林館は、色合いが明るく、写真や挿絵も多く掲載されています。例えば、「例」は白抜きの青色、「問い」水色の文字というふうに見分けやすいように、配色に工夫がされています。また、デジタルコンテンツも充実していて、解説の動画、補充問題やその解答、解説など理解が不十分な生徒も改めて学習し直すことができるよう、ほぼ毎時間デジタルコンテンツが利用できるような配慮がなされています。

理科は、生徒が興味・関心を持ち主体的に学習できる工夫や単元の中で探究的に学ぶため単元構成やページ構成がなされているといった観点から、東京書籍と啓林館の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、生徒の学習意欲を高めるため、単元の初めに日常生活と関連した疑問を投げかける工夫がされています。また、言語活動の定着を図るため課題に対して、自分の考えを言語化して発表させるための具体的な手順等が記す等の工夫がされているという特徴があります。

啓林館は、デジタルコンテンツが充実しています。例えば、実験や解説動画だけでなく、「ふりかえりシート」等により、学習前、後の自己変容を生徒に感じさせる工夫がされています。また、SDGsに関連するページが多くあり、今日的な課題に対する当事者意識を醸成させやすい構成になっています。

以上が、数学と理科に関する協議概要の説明となります。

教育長

では、数学から協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

高田委員

啓林館は、どのページもすっきりしたイメージがあります。授業における「めあて」「例題」「解説」違った色で、色囲みしてあり、ぱっと見てわかりやすいです。

松田委員

東京書籍も、「めあて」「問題」などは、色囲みしてあります。落ち着いた色使いで明るすぎる状況下でも、目にやさしい感じがします。

#### 後藤委員

啓林館は、どの学年においても高校入試を意識した問題が数多く掲載されています。常に進路選択を意識させるための工夫なのかな、と感じました。その問題を解くことによって、今後の自分の学習への意欲向上にもつながるし、自己分析をすることにもつながるのではないかと感じました。

#### 松田委員

東京書籍も、多くの問題が掲載されています。難易度によって、ページが分けてあり、自分のレベルに合わせて、課題に取り組むことができます。授業を行う教員も、個のレベルに合わせて、ページを指定することができます。どちらの教科書会社とも、生徒の学習意欲を高めるための問題の配置の仕方が行われていて、とても良いと思います。

#### 教育長

他、教師が授業を行うといった観点ではいかがでしょうか。

#### 高田委員

東京書籍の単元の始まるのページは、生徒が話し合いやすい構成になっていると思いました。一つの考えだけでなく、課題に対して、多面的に考えることができる挿絵のつぶやきがあり、多くの考え方がでてくると感じました。そのことで、話し合いにも発展させやすいし、生徒の言語能力の育成にもつながるのではないのでしょうか。

#### 後藤委員

これまでの学力学習状況調査の結果からも稲美町の中学生は、説明する力に課題がみられますので、そういった教科書の構成は良いかもしれません。

啓林館にも話し合いを促す箇所はありますが、一つの解答に収まってしまうような、問いであるように感じます。となると、話し合いが広がっていかないかもしれません。

#### 高田委員

やはり多くの考え方が出てきたほうが良いし、何よりも自分の考えに自信をもって、それを言語化してほしいです。東京書籍では、考えの基となるような、挿絵やグラフも配置して、段階的に説明ができるような工夫があるように感じます。

#### 松田委員

段階的に考えていけるのは良いです。考える手立てがわかると、多くの生徒が話し合いに参加できます。

#### 教育長

では、数学は東京書籍にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 各委員

異議なし。

教育長

皆さまから「異議なし」の声をいただきましたので、数学は、東京書籍とします。  
理科は、いかがですか。

松田委員

どの教科書も、生徒が観察・実験などの直接体験ができる学習活動ができるよう、ページ構成を工夫されています。また、特に探究を重視していく教科ですので、探究活動の充実のための学習の流れについても、細かいところまで、配慮されているように感じます。このような教科書を使用していけば、自然と探究心を育まれていくように感じますし、目の前の事象を深く考える生徒が増えていくのかもしれない。

後藤委員

探究に関して、啓林館では、巻末に探Qシートが用意されています。すべての単元ではありませんが、生徒がより深く探究活動をできそうな単元分が用意されています。具体的な手順が示されていて、手順通りに学習を進めれば、学習した内容からさらに深く学んでいくことができるので、事象に対する原因や結果等について、自分の考えを持つことができるかもしれません。また、自分の考えを持った上で友達と交流もできると思うので、言語活動も充実していくかもしれません。

高田委員

東京書籍は、教科書のページ構成により、探究の流れを示しているようです。「問題発見」「課題」「仮説」「構想」… といった流れです。この流れに沿って学習を行えば、確かに探究活動が行いやすいように感じます。

松田委員

もちろん、啓林館でも、各単元のページ構成は、探究の流れを示しています。こちらは「疑問」「課題」「仮説」「計画」… といった流れです。

後藤委員

先ほど、事務局から、啓林館はデジタルコンテンツが充実しているとありましたが、生徒の ICT 機器の具体的な活用例まで記載されています。二次元コードの使用だけでなく、実験や観察における ICT の活用例、QR コンテンツで行う実験など、学び方が広がりそうな気がします。

松田委員

確かに東京書籍でもデジタルコンテンツの活用に関するページはあるのですが、啓林館ほど学びの広がりを感じません。

教育長

他、教師が授業を行う、といった点ではいかがでしょうか。

後藤委員

どの教科書も、とても鮮やかな写真ばかりで、写真を見ているだけで、学習意欲がわきますし、授業を行う先生もこれらの写真を大いに活用したいと思うのではないのでしょうか。教師が授業を行っていく上で、まず生徒に関心を持ってもらう必要があると思いますので、そのために今日的課題が効果的に取り上げられている方が良いでしょうと思います。

高田委員

となると、先ほど事務局からもお話がありましたが、啓林館がSDGsをはじめとした今日的課題を多く取り上げているのは魅力的です。また、2年「エネルギー」の中では最先端の科学技術を伝えるページもあり、夢を抱く生徒も出てくるかもしれません。東京書籍は、理化学に関する開発者のページ等があり、成功者の体験談を知ることができます。

松田委員

どちらも非常に魅力的です。しかし、SDGsの目標達成というのは、世界的な課題でもあるので、そういった点はぜひ、これからの稲美町を背負って立つ中学生には、理科を含めて、学校生活の中で、意識をしてほしいところです。

後藤委員

なるほど、啓林館では、全学年の教科書において、発達段階に応じた視点で、課題提示しています。それらが、どの単元と関連しているのかも明示してあるので、教師が授業を行う際にも意識しやすいと思います。そして、探究活動により、地球的な課題にも目を向けてくれたら良いです。

教育長

では、理科は啓林館にしたいと思いますが、いかがでしょう。

各委員

異議なし。

教育長

続いて、音楽一般と器楽、美術の報告をお願いします。

奥課長

音楽一般と器楽、美術について、協議の概要を説明します。

教科用図書採択に関する報告書の29ページから32ページをご覧ください。

音楽一般と器楽の2社、美術の3社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

音楽一般と器楽は、いずれも音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う工夫されているかどうかや、音楽表現を創意工夫したり、音楽の良さや美しさを味わって聴いたりすることができるような内容となっているかを中心に協議しました。

教育出版は、創作分野において、言語を活かした内容が多く、言語活動の充実を図ることができ、教材の導入が行いやすいという特徴があります。また、我が国の伝統音楽に親しむことができるような工夫がされています。

教育芸術は、創作分野では、音楽アプリとの連動が想定されており、リズムを遊び感覚で習得でき、実際の音を聞きながら創作することもでき、生徒の主体的な取り組みが期待できるような内容となっています。また、楽器演奏を不得意とする生徒も主体的に取り組めるように、打楽器の内容がとても充実しているという特徴があります。

美術は、発想や構想したことを基に、材料や用具などを活かして工夫し、創造的に表すことができるという内容になっているかといった観点から、光村図書と日本文教出版の2社が協議の中心となりました。

光村図書は、ページ各所に吹き出しを記載し、生徒が主体的な話し合いが行えるよう、工夫されています。また、デジタルコンテンツも充実しており、解説や書き込みツールなど多くのコンテンツが用意されています。

日本文教出版は、紙面構成が非常にシンプルで、文書や挿絵、写真等の使用が適切です。また、掲載されている「生徒作品」についても、あえて一般的な作品が選ばれており、生徒の主体的な作品制作につながっていくような、工夫があります。

以上が、音楽一般と器楽、美術に関する協議概要の説明となります。

教育長

では、音楽一般と器楽から協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

松田委員

教育芸術の方が、全体的に、使用されている写真がきれいだと思います。「花」のページなどは、受ける印象に違いが出てくるのではないのでしょうか。また、作詞家や作曲家の紹介してある箇所も、タイムリーな気がします。生徒は、曲の情景をイメージすると思いますので、歌詞と結びついた写真は大切だと思いますし、単元の初めの方のページで、作者を紹介してあれば、作者を足掛かりに、学習に取り組むようになるかもしれません。

後藤委員

教育出版は、鑑賞分野において、比較的たくさんの情報量が掲載されているようです。「春」第1楽章でもたくさんの情報があり、興味深いです。授業の中で、どの情報を活用していくのかは、教師次第だと思いますが。

高田委員

情報量が多いのは良いことですが、過度な情報提供は良くないかもしれません。

松田委員

ところで、「帰れ、ソレント」では、2社によって訳者が違います。訳者がちがうので、生徒が歌う歌詞は違うこととなります。どちらの教科書を採用するかで、これまでと大きく異なってきます。授業者もこれまでと違う内容で指導していくことにもなります。

たしか、稲美町では、現在、教育芸術社の教科書を使用していましたか。

奥課長

はい。教育芸術です。

松田委員

ありがとうございます。ということは、稲美町の音楽の先生はこれまで、教育芸術の教科書で授業を行ってきたわけですから、「帰れ、ソレント」のように、生徒が歌う歌詞が変わってしまうのは、良くないのではないのでしょうか。

また、よく読むと教育芸術の方の和訳の方が、生徒がイメージしやすい言葉で訳されていて、想像しながら歌えるような気がします。

高田委員

わたしもそう思います。

教育長

では、これまでの系統性等も考えて、音楽一般は、教育芸術という感じですね。器楽はいかがですか。

後藤委員

器楽も教育芸術の方が良いのではないかと思います。全般的に楽譜がすっきりとしていて見やすく、効果的に器楽練習ができると思います。

高田委員

教育出版は一般と同様、情報量（特に写真）が多いです。興味深い写真ばかりなのですが、少し詰め込みすぎているイメージがあります。

松田委員

教育芸術は、さらに「学びのコンパス」というページが用意されていて、音の重なりやリズムについて、生徒が主体的に考えを深めることができそうです。リコーダー演奏のページでは、アーティキュレーションの違いを丁寧に説明してあり、生徒さんも理解しやすいのではないかと感じます。

教育長

他に意見はありませんか。ないようですので、音楽一般と器楽は、どちらも教育芸術でよろしいですか。

各委員

異議なし。

教育長

続いて、美術についてご意見やご質問がありましたらお願いします。

松田委員

どちらの教科書もデジタルコンテンツがわかりやすいです。特に有名な作品に関する解説は、とても興味がわいてきます。

高田委員

美術において学ぶ「技能」等についてですが、光村図書は別冊にまとめられています。日本文教は、教科書の巻末にまとめてありますので、この部分の活用方法については、教師の好みもあるかもしれません。

後藤委員

2つの教科書会社に掲載されている生徒作品ですが、光村図書の方が独創的なイメージがあります。事務局の説明にもありましたが、日本文教は、（こんな言い方が良いのかわかりませんが）一般的な作品に見えます。教科書を使う生徒にとっては、この生徒作品が一つの目標になると思うんです。だから、普通の作品に触れておく方が、生徒の制作意欲も掻き立てられるような気がします。いかがですか。

松田委員

確かにそうですね。美術が苦手な生徒にとって、イメージしやすい目標がある方が良いかもしれません。

高田委員

日本文教は、3分冊となっています。他者と比べて、大きく違う点となっていますが、選定委員会では、どのような意見があがっていましたか。

奥課長

学年で使い分けることができ使いやすいのでは、ということでした。

後藤委員

また、日本文教は「表現・鑑賞」ということで、「表現」だけでなく、同時に「鑑賞」についても明示されています。表現のあとには、自分だけでなく、友達作品にも興味を持ってほしい、という考えなのかもしれません。

松田委員

そこで、対話も生まれてきそうです。

高田委員

日本文教の方が、稲美町の教員や生徒にとっては良いのではないのでしょうか。

教育長

では、美術は、日本文教にしたいと思いますが、いかがでしょう。

各委員

異議なし。

教育長

続いて、保健体育と技術・家庭の報告をお願いします。

奥課長

教科用図書採択に関する報告書の33ページから38ページをご覧ください。

保健体育の4社、技術・家庭のそれぞれ3社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

保健体育は、学習指導要領にも記載されている、共生や多様性の視点を含む、現代的な課題に対して触れられているか、また、体育分野との関連を意識し、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識することができる内容となっているか等の観点から、東京書籍と大修館書店の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」と学習の流れが明確になっており、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができ、主体的・対話的な学びとなるように工夫されています。

大修館書店は、各章にまとめ問題が用意されており、しかも観点別に問題が設定されるなどの工夫が見られ、知識及び技能の定着をはかることができる構成となっています。

どちらの教科書も、デジタルコンテンツにより解説の動画、ワークシート等が用意され、深い

学びができるように工夫されています。

技術・家庭の技術分野では、生活や社会、環境とのかかわりについて、理解を深める内容になっているか、実習や観察・実験、調査等、実践的・体験的な活動が適切に行えるような配慮がされているかといった観点から、東京書籍と開隆堂の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、各編のまとめが、「確かめよう」「深めよう」「生活にいかそう」という同じサイクルで、統一されており、学習内容を確実に深めていけるよう工夫した構成となっています。開隆堂は、各領域で問題解決の評価・改善といったページ配列に統一されており、生徒は、定期的に自己分析を行うことができるよう、工夫されています。

家庭の分野では、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、これからの生活を実践することができる内容となっているかや生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともにこれらに係る技能を身につける内容となっているかといった観点から東京書籍と開隆堂の2社が協議の中心となりました。

東京書籍は、学習内容の配列が、「自ら生活をつくる」「消費者として意思決定する」「ともにいきる」といった生徒の実態にあっているといった特徴があり、発達段階が十分に考慮されています。開隆堂は、ジェンダーに関すること、ヤングケアラーに関することなど、今日的な課題がとりあげてあり、生徒が興味・関心を持ち、主体的な学習につながるよう内容が工夫されています。

以上が、保健体育と技術・家庭に関する協議概要の説明となります。

#### 教育長

では、保健体育から協議します。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

#### 後藤委員

東京書籍は、心肺蘇生法の手順等がとても詳しく説明されていますので、とても分かりやすいです。4ページにわたって説明してあるので、構成はすっきりしているイメージです。

#### 高田委員

大修館にも、同じ内容がありますが、「胸骨圧迫」から人工呼吸まで、見開き2ページでコンパクトにまとめてあります。実習中も見やすいです。

#### 松田委員

大修館は、学習の初めに「課題をつかむ」というコーナーがあります。とても身近な課題提示がされており、学習に入りやすいイメージがあります。

また、学習におけるキーワードも多く明示しており、授業の中で意識することができるし、学習の見通しも立ちそうです。

#### 高田委員

東京書籍にもキーワードの明示はあります。しかし、すこし少ないイメージがありますね。

#### 後藤委員

大修館の「体力をたかめよう」というページはよくできていると思います。体力を高める必要性を認識することができるし、自らの行動変容にもつながるよう、「計画を立てる」といった学習へつながっています。保健は、体育分野とのつながりも大切です。

#### 高田委員

全体的なことですが、大修館は、写真、イラストが多くて、イメージがしやすいです。

教育長

ここまで、大修館書店を推す意見が多いように思います。稲美町ではこれまで、東京書籍を使用してきましたが、この度、教科書会社が変わることに影響はないですか。事務局の考えをうかがえますか。

奥課長

学習内容に変化はありませんので、大丈夫です。

教育長

では、保健体育は、大修館書店でよろしいか。

各委員

異議なし。

教育長

それでは、技術はいかがでしょう。委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

松田委員

どちらの教科書もデジタルコンテンツは充実しています。説明動画がとてもわかりやすく、生徒の自主的な学習にもつながります。

高田委員

開隆堂のページ下段に「豆知識」といったコーナーも生徒の興味・関心を惹く工夫だと思います。

後藤委員

東京書籍は、見開き2ページの中で、学習課題の上に「レッツスタート」というコーナーが用意されています。本時の学習につながるとても良い導入の提示だと思います。

高田委員

そうですね。実生活やこれまでの経験をもとに考えることができ、工夫されたページ構成だと思います。

松田委員

ページ構成は、東京書籍の方が、まとまっていて、授業はしやすいように感じます。説明の文章もそうですが、グラフ、写真の量についても各単元で統一感があります。

高田委員

学習のまとめについてですが、開隆堂は穴埋め問題が多いですが、東京書籍は比較的、説明する問いが多いように感じます。言語能力の育成のためには、このような問いが必要になってきます。

後藤委員

やはり、全体的に東京書籍の方が授業者も使いやすいように感じますし、生徒にとっても、見やすく、学習しやすい方が良いのではないのでしょうか。

教育長

わかりました。では、家庭分野はどうですか。

松田委員

技術科同様、どちらの教科書もデジタルコンテンツは充実しています。説明動画がとてもわかりやすく、生徒の自主的な学習にもつながります。

高田委員

技術もそうでしたが、開隆堂のページ下段に「豆知識」といったコーナーが生徒の興味・関心を惹く工夫です。

後藤委員

どちらの教科書にも調理例が多く掲載されていて、生徒はとても関心を持つと思います。材料や分量、調理方法など、ポイントを絞って記載してあります。

松田委員

東京書籍は、見開き2ページの中で、学習課題の上に「レッツスタート」というコーナーが用意され、導入しやすくなっています。また、さまざまなページに掲載されているグラフや表については、東京書籍の方が比較的新しいデータのように感じます。ページ構成もまとまっています。

高田委員

さきほど事務局より説明のあった、学習内容の配列は、とても良いと思います。自立と共生という観点から考えると、まずは、自立するための学習をしっかりと行って、共生につなげていくのは大切かと思います。東京書籍の配列はよく考えられていると感じます。

教育長

他にご意見はございませんか。それでは、技術科も家庭科も東京書籍ということでよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

続いて、外国語の報告をお願いします。

奥課長

教科用図書採択に関する報告書の39ページから41ページをご覧ください。

外国語の6社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

外国語は、言語活動の定着を図るための配慮がなされているか、小学校外国語科との接続を重視し、学びの連続性を意識した内容となっているかといった観点から東京書籍と三省堂の2社

が協議の中心となりました。

東京書籍は、小学校で学んだ単語が基本文の中において、分かりやすく説明されています。稲美町では小学校5、6年の外国語の教科書に採択しており、全体構成や紙面デザインに関連性があり、生徒に安心感を与えていると思います。

三省堂は、見開き左側に導入、右側に本文といったページ構成が多く、2ページの中に4技能を網羅できるよう工夫されています。以上です。

教育長

では、外国語に関して、委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

後藤委員

どちらの教科書も巻末に Can-DO リストがあるのは、良いですね。4技能5領域について、生徒が身につけるべき力を意識することができます。ちなみに東京書籍の方は、小学校までの学習内容にもふれてあり、小学校とのつながりも意識できます。

松田委員

東京書籍は、最初にフォニックスを学習するページがあります。小学校である程度学習してきていますが、最初にそのポイントを学習できるのは良いです。

高田委員

三省堂のページ構成は分かりやすいです。まず、「聞く」「話す」ということから学習が始まり、基本的に本文は右側です。ちなみに、東京書籍は見開きの両ページに本文があります。学習する技能は、「聞く」ことから始まるような構成になっていますが、この点は、2社で大きく違います。

後藤委員

全体的に感じるのですが、東京書籍の方が、英語の本文が長いようです。英語の情報量としては、多いです。ですので、少し難しく感じますがいかがでしょう。

松田委員

稲美町の子どもたちは、小学校から外国語は力を入れて学習してきていますし、ALT とのコミュニケーションも積極的にとれる児童が多かったように感じます。ですので、稲美町の生徒にとっては、英語の情報量が多くても問題はないと思います。

高田委員

小学校でも東京書籍の教科書を使用しているわけですから、抵抗なく中学校での外国語の授業に入っていけると思います。

松田委員

できれば、連続性のある教科書を使用してほしいので、東京書籍が良いのではないですか。

教育長

他の皆様、いかがでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

それでは、外国語の教科書は、東京書籍とします。  
最後に、特別の教科 道徳の報告をお願いします。

奥課長

教科用図書採択に関する報告書の42ページから45ページをご覧ください。

道徳の7社は、いずれも学習指導要領に示されている各教科の目標達成に結び付く内容となっていました。

道徳は、自己の生き方について考えを深める問題解決的な学習を進める手立てが示されているか、物事を多面的・多角的な見方ができる工夫がされているかといった観点から日本文教と学研、あかつき図書の3社が協議の中心となりました。

日本文教は、教材名の横に、「学びのワード」が記載されており、生徒が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されています。また、別冊の道徳ノートが用意されています。

学研は、日本文教と同様、教材のタイトルに問題意識が高まる「キーフレーズ」が載っており、学習の見通しを持たせやすくなっています。また、漫画等も活用し、生徒の興味関心を惹きやすいよう工夫されています。

あかつき図書は、読み継がれてきた定番の読み物教材や漫画で読み解く教材があり、生徒の心に触れ、揺さぶることができる教材を採用するなど、工夫されています。以上です。

教育長

では、道徳に関して、委員の皆さま、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

後藤委員

事務局から説明がありましたが、確かに、学研と日本文教には、タイトルの横に学習のカギとなりそうな、フレーズがありますが、あかつき図書にはありません。このことについて、何か選定委員会の中では協議はありましたか。

教育長

事務局いかがですか。

奥課長

道徳の授業を行うにあたっては、教材の中から道徳的な諸価値に気づいて、考え深めていった方が良いのではないかとの意見がありました。ですので、フレーズはなくてもかまわないのではないかとの意見もありました。

高田委員

日本文教の道徳ノートは、使いやすそうな気がします。各教材に対応したページが用意されているので、授業者によっては、うまく活用できるかもしれません。

松田委員

学研は、イラストが特徴的です。レイアウトも変化に富んでいて、親しみやすいかもしれません。

後藤委員

あかつき図書は、兵庫県を題材とした教材が多いように感じます。生徒にとっては、とても身近に感じますし、教材の中にある道徳的な諸価値を自分事として考えやすくなるかもしれません。

松田委員

あかつき図書は、教材を通して、自分事としてとらえるような問いが教材の最後に用意されています。また、違った立場から考えてみるような問いも多く用意されており、道徳の授業の中で求められている多面的・多角的な見方を養うための工夫がされています。

高田委員

あかつき図書は、シンプルなページ構成で、ページ内に目移りするような情報も少ないので、生徒は道徳の教材の中に入り込みやすいような気がします。

後藤委員

できれば、見かけではなく、教材自体に魅力があり、生徒が教材に引き込まれるものがよいと思います。教科担任ではなく、多くの教師が道徳の授業を行うわけですから、道徳的な授業展開をしやすいあかつき図書が良いと思います。

教育長

では、特別の教科道徳は、あかつき図書でよろしいですか。

各委員

異議なし。

教育長

これで、中学校全教科・種目の審議が終わりましたので、議案第9号「令和7年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」の結果を確認します。

国語【光村図書】、書写【光村図書】

社会（地理【帝国書院】、歴史【帝国書院】、公民【帝国書院】）地図【帝国書院】

数学【東京書籍】

理科【啓林館】

音楽（一般）【教育芸術】、（器楽）【教育芸術】

美術【日本文教出版】

保健体育【大修館書店】

技術【東京書籍】

家庭【東京書籍】

外国語【東京書籍】

特別の教科 道徳【あかつき教育図書】

以上で、よろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は、審議のとおりとなりました。

ここで、一旦休憩をとりたいと思います。

議事の都合により、事務局の入れ替え(入室)がございますので、若干お時間をいただきたいと思ひます。

なお、傍聴の方々におかれましても、ここで退室いただいてもよろしいです。

続きまして、私から、日程第1、諸報告ですが、別紙資料の通りです。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課 (報告内容省略)

人権教育課 (報告内容省略)

生涯学習課 (報告内容省略)

文化の森課 (報告内容省略)

教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

後藤委員

教育課の9月の中学校の体育祭、その後小学校も続いていくわけですが、ほんとに暑い日差しの中で、殺人的な暑さの中で、甲子園でも昼間は飛ばして夕方からとなっているようですし、暑さに対して襟を正して、短い時間でどう効率よく行っていくかということを考えていかないと、倒れてしまう子が出てくると思ひます。準備の段階からとなると思ひますが、暑さ対策というのはほんとに考えてプログラムを厳選、縮小計画を考えていかれたらなと思ひます。

前はコロナで中止とか、縮小ということがあったのですが、暑さに対しての適応を求められていると思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育長

事務局の方、熱中症対策について簡単に説明をお願いします。

稲葉課長

熱中症対策につきましては1学期の間に、学校、園を通じて、保護者に対してもそうですが、対応等については通知をしております。夏休みの部活動につきましても、毎日熱中症指数などを確認し、生徒の体調等も確認した上で、部活動を実施をするようには指示を出しております。そのように対応していただいているところですので、2学期が始まりまして、どのような天候になっていくか分からないんですが、引き続きその辺はきちんと天候を確認しながらやっていくように、再度周知していきたいと思ひます。

プログラムにつきましても、その辺りも考えていくように、校長会等でも、周知していけたらなと思ひております。

教育長

次は、日程第2、報告第19号 専決処分したものに承認を求めることについて、専決処分書「稲美町男女共同参画プラン推進懇話会委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から

提案理由の説明を求めます。

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。報告第19号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

教育長

次は、日程第4、その他(1)「稲美町スポーツ推進会議の報告について」及び(2)「第1回図書館協議会の報告について」を事務局から説明願います。

中澤課長 (説明内容省略)

中嶋課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

スポーツ推進会議の報告の最後から6行目、パブリックコメントというのが、私には分かりにくいというか、有識者のコメントをもらうという意味に私は感じたのですが、単なるアンケートをとるとのこととはまた違うことだと思いますので、パブリックコメント実施とは、具体的にどういうことかを教えていただきたいと思います。

中澤課長

パブリックコメント実施というのは、計画の見直しなどで実施するケースが多いです。多くの方からご意見をいただきたいということで、役職とか関係なしに、多くはホームページであったり、窓口に書類を置いたりするのですが、一般住民の方から、この計画の見直し内容についてご意見ありますかということで、広く意見を募集するものが、パブリックコメントでございます。

教育長

出来上がったスポーツ推進計画案をホームページ等で広く公表しまして、それを見て専門家ではなくても、一般の人たちに広く意見をいただくということです。

沼田部長

パブリックコメントを日本語で言うと「住民意見公募」という言い方をしています。

松田委員

図書館のことが14ページに書かれてあるのですが、幼稚園は蔵書が少ない。小さい頃から本に触れるというのがすごく重要だと思うのですが、こういう小さい子の本も、そういうデジタル図書の活用を考えていらっしゃるのでしょうか。

中嶋課長

今回デジタル絵本ワークショップを報告させていただいたのですが、タブレットを使って、自分で絵を描いて、あるいは絵を引用して、オリジナル絵本をすることで本に興味を持ってもらう、そういう仕掛けを今回させていただいたのですが、小学校の方でも案内させていただいています。幼稚園の方には、なかなかそこまでできていません。幼稚園では小学校のように図書室があるわけではないので、保護者の方から電子書籍であれば場所を取らなくていいのではないのでしょうかというご意見もいただきました。

教育長

他に何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

なお、次回の定例教育委員会は9月30日(月)ですので、よろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。